

更生保護施設での実習について

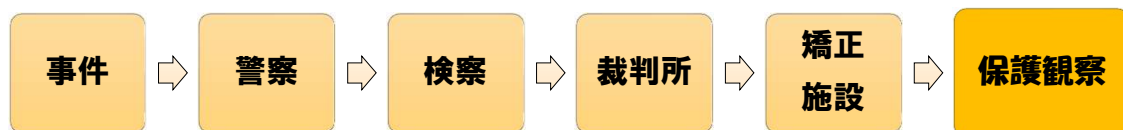


更生保護法人 自愛会
福祉職員・保護司
倉島 ひろみ

Social Worker
Probation officer
Hiromi Kurashima



更生保護施設とは



- **全国に102施設** (2024.1.現在)
- **民間の施設**
- **保護観察所(国)から委託で運営**
- **官民協働で更生保護事業を行う**
= 犯罪や非行をした人の改善更生と再犯防止



対象者(利用者)

- 刑事施設を仮釈放になった人
- 刑事施設を満期釈放になった人
- 少年院を出た少年
- 刑の執行猶予を言い渡された人
- 起訴猶予になった人
- その他

帰る場所のない人が、
自立準備をするために過ごす通過型の施設

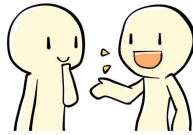


自愛会の特徴

- 男性, 成人中心
- 定員: 15名 (内訳: 成人13名: 少年2名)
- 平均在籍期間: 70日
- 犯罪非行名: 覚せい剤取締法違反, 窃盗, 他
- 特別処遇対象者の受入れ指定施設
(高齢者, 身体・知的・精神障害等を抱える人)
- 職員6名: 施設長, 補導主任, 補導員, 福祉職員



実習の内容



対象者と出会う・話す

～1人の人として向き合う～

関係機関の参観・講義

～社会で求められていること、
社会に求めたいことを考える～

裁判所、検察庁、拘置所、鑑別所、少年院、
刑務所、保護観察所、市役所、病院、自助
グループ、ハローワーク、社会福祉協議会、
地域生活支援センター、地域包括支援セン
ター、青少年自立援助センター、etc

面接し、アセスメントをする

～葛藤を吟味し、自己覚知をする～

支援計画を作成する

～社会福祉士としての
視点と責任を培う～

実習指導で大事にしていること

①対象者と話す

一人の人として知る。
尊重し、理解する。

③価値観を見つめ直す

自分の認識や社会通念を
改めて考えてみる。

②違和感(抵抗)を分析する

社会福祉の倫理や価値に
気づく機会。
社会福祉士として
大事にしたいものにな
る可能性がある。



④種をたくさん蒔きたい

- * 対象者のために
理解してくれる人、寄り添える人
を増やしたい。
- * 学生のために
学習意欲を高めたり、より深く
学ぶためのきっかけを作りたい。

ありがとうございました

実習生の受入れは、後進育成だけでなく

ソーシャルアクションの1つ。

学生さんを通して多くの種を蒔きたいと思っています。

貴重な機会をありがとうございます。

